

# 国際リニアコライダー (ILC) 応援企画 加速器のあるまち ～CERN帰国報告

世界的な素粒子加速器施設「国際リニアコライダー (ILC)」。脊振山脈への誘致が決まると、産業や文化、住む人たちの生活にどんな影響があるのでしょうか。

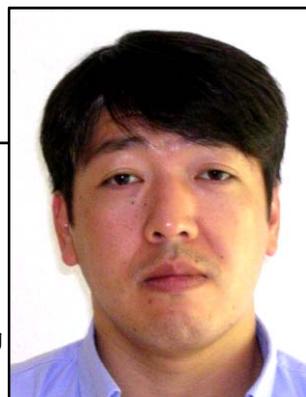
本セミナーでは、2008年から「欧州原子核研究機構 (CERN)」により、世界最大の加速器施設「大型ハドロン衝突型加速器 (LHC)」が稼働しているスイスのジュネーブの様子を、先進事例としてご紹介します。

現在、CERNで素粒子の研究をしている九州大学理学研究院・東城先生が、一時帰国されています。加速器の誘致によって、街の文化や教育・産業がどのように変わったのか、ジュネーブで研究中の海外の科学者・技術者の暮らしぶりなどについて、現地で実際に体験したことを中心にお話しいただきます。

講師： **東城 順治** 氏 (九州大学理学研究院 准教授)

## ■プロフィール

専門は素粒子物理学。2002年に京都大学大学院理学研究科 研究指導認定を退学。2004年、京都大学大学院理学研究科博士(理学)。その後、理化学研究所基礎科学特別研究員、理化学研究所協力研究員、高エネルギー加速器研究機構助教を歴任。2011年、九州大学理学研究院准教授に就任。現在にいたる。2006年4月から2013年1月までの7年9ヶ月、CERN (欧州原子核研究機構) で研究活動を行う。



日時：**4月12日(金)** セミナー：18時半～20時 交流会：20時～21時

場所：BIZCOLI 交流ラウンジ (福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル共創館 3F)

参加費：セミナー 1,000円 / 交流会費 1,000円 (参加者のみ)

定員：35名 (定員になり次第締め切り)

主催：九州経済連合会 九州経済調査協会 共催：九州先端科学技術研究所

下記を記入し、FAX (092-721-4908) でご送付いただくか、BIZCOLIのHP (<http://www.bizcoli.jp/>) から申し込みください

会社名	所属	
お名前	住所	
電話番号	メールアドレス	交流会 (いずれかに○をつけてください) 参加 ・ 不参加

## ■お問い合わせ先

(財)九州経済調査協会・BIZCOLI 担当：瀬口・祭城・清水

福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル共創館3F 電話：092-721-4909 FAX：092-721-4908

**BIZCOLI**  
BIZ COMMUNICATION LIBRARY